（様式３の２）〔年間指導計画〕「人間と社会」用

東京都立　小金井工科高等　学校　定時制　課程　工業　科

年間指導計画

(1) 授業の１単位時間：（　４５　）分間

(2) 年間指導計画：

学期	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	はじめに （演習）	課題を発見し、学びを深め、答えを探究する学習を理解させる。	「知識・技能」 相手や場面に応じた適切な表現方法があることを理解し、自分の考えを効果的に説明する方法や、社会が地域の方や市役所の方の取組と工夫によって支えられていることを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。 「思考・判断・表現」 地域の方との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深め、伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現しているかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 自分も地域社会の一員であること認識し、よりよい町づくりのた	1
	序章　人間と社会 （演習）	「問い」から「探究」の行程を理解させる。		1
	５章　マナーとルール（演習）	都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を利用し、東京しごと財団から、社会人としての心構えやマナーについての講習を受け、企業訪問時等のマナーや基本動作について考えさせる。		2
	１３章　地域社会を築く（演習） 事前指導 地域社会を築く （体験） 事後指導	「地域社会との関わり」「地域社会での活動内容」「地域社会をめぐる状況」を学習させた上で、地域社会を築くために大切な事について議論し考えさせる。 小金井市民とともに清掃活動を行い、地域の問題について体験を通じて具体的に理解させる。 地域の問題、地域とのかかわり方、地域貢献について「問い」を考えさせる。		2 4 1
	６章　スマートフォン時代のコミュニケーション （演習）	現代でどのようなコミュニケーションが求められているか議論し、「問い」について考えさせる。		2

			めに地域の一員として自分にできることに取り組もうとしているかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。	
夏季休業期間	１２章　支え合う社会（演習） 事前指導 （体験） 事後指導	東京消防庁ＨＰ内の「電子学習室」を利用し、自助・共助・公助について議論し考えさせる。 小金井消防署において救急救命講習を受け、災害の際の地域での役割を考えさせる。 災害救援活動について「問い」を考えさせる。	「知識・技能」 事故や災害時などの対応方法を理解し、普通救命救急の知識と技能の大切さを、発言・振り返りの記述から評価する。 「思考･判断･表現」 自助・共助・公助の考えから、災害時等の自分や他の人の行動を多面的・多角的に考察していかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 普通救命救急講習の体験活動に主体的・協働的に取り組もうとしているかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。	1 4 1
	１８章　国際平和を築く（演習）	国際平和を築くことについて議論し「問い」について考えさせる。		2

2	１０章　お金の意義（演習）	都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を利用し、（公財）生命保険文化センターから、お金についての講習を受け、議論し「問い」について考えさせる。	「知識・技能」 契約には責任が伴い、自立した行動が求められることについて理解し、金銭管理やリスク管理等について自分の考えを効果的に説明しているかを、発言・振り返りの記述から評価する。 「思考･判断･表現」 成年年齢を迎えたあとにできるようになることやそれに伴う責任と想定されるトラブルについての講習を基に考察した内容を話し合い、自分の考えを文章にまとめているかを、発言・振り返りの記述から評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 自分自身のライフプラン考え、働き方やキャリア等、どう歩んでいくか前向きに自己の将来を設計する態度を、発言・振り返りの記述から評価する。	2
	１３章　地域社会を築く（演習） 事前指導 地域社会を築く（体験） 事後指導	地域社会を築くために大切な事について議論し考えさせる。 小金井市民とともに清掃活動を行い、地域の問題について体験を通じて具体的に理解させる。 地域の問題、地域とのかかわり方、地域貢献について「問い」を考えさせる。		1 4 1
	１９章　主権者・成年としての権利と責任（演習）	成人年齢の引き下げに伴い、選挙権や金融に関することについて議論し、「問い」について考えさせる。		2
	４章　役割と責任（演習） 事後指導	東京地方検察庁の「出前教室プログラム」を利用し、模擬裁判を通して社会が要請する裁判員としての役割を理解させる。 演習を振り返り、「問い」から「課題」を設定させる。		3 1

3	［最終章］人間と社会～これからの生き方～（演習） ［おわりに］人間と社会まとめ	都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を利用し、ソニー生命保険から、ライフプランニングについての講習を受け、自他や社会との関わりについて考えさせる。 都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を利用し、洋服の青山から、ビジネスマナー及び身だしなみについての講習を受け、社会人としての在り方について考えさせる。 年間を通じての「問い」を洗練し、これからの「課題」を設定させる。	「知識・技能」 自己と実生活や実社会との関わりから、新しい課題を自ら見いだせたかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。 「思考･判断･表現」 他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組めたかを、発言・ワークシート・振り返りの記述から評価する。	4
配当時間合計				３９